

都市再生整備計画 事後評価シート  
(仮称)吉川新駅新拠点形成地区

平成26年11月

埼玉県吉川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	吉川市	地区名	(仮称)吉川新駅新拠点形成地区			面積	174ha				
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	1,387.2百万円	国费率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(6-38号線、(仮称)新駅アクセス線)、公園(近隣公園、(仮称)二郷半緑道、4号街区公園、運動広場)、地域生活基盤施設(4号街区公園)、高質空間形成施設((仮称)吉川新駅交通広場、街区公園)、高次都市施設((仮称)吉川新駅自由通路)										
		提案事業	まちづくり活動推進事業((仮称)二郷半緑道整備WS)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(6-38号線)	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	まちづくり活動推進事業((仮称)吉川新駅新拠点形成地区クリーン大作戦)	地区内の住民が自発的にクリーン大作戦を始めたため、事業削除		影響なし							
		基幹事業	道路((仮称)新駅アクセス線)、公園(運動広場)、地域生活基盤施設(4号街区公園)、高質空間形成施設((仮称)吉川新駅交通広場、街区公園)	(仮称)新駅アクセス線:駅前道路の高質化を図るため、電線地中化事業を追加 運動広場:近隣公園と一体的利用の運動広場に防球ネット整備等を計画 4号街区公園:公園事業に含まれていた耐震性貯水槽設置費用を移行 (仮称)吉川新駅交通広場、街区公園:駅前地区の開発コンセプトである「芸術文化のまちづくり」を推進するため、モニュメント設置事業を追加		(仮称)新駅アクセス線:影響なし 4号街区公園:影響なし (仮称)吉川新駅交通広場、街区公園:目標2に「芸術文化のまちづくりを推進し」、「身近な芸術鑑賞の場の提供」を明記							
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	自由通路の利用者数	人	0	H20	5,000	H25		5,604	○	あり	吉川美南駅の開業とともに、自由通路が供用開始され、西口の土地区画整理事業も完了したことから、利用者数が順調に増えている。	
	指標2	公園緑地の整備率	%	3	H20	60	H25		100	○	あり	関連事業である土地区画整理事業と合わせ、計画的に公園整備を進めたことで、本地区の整備率が格段に向上した。	
	指標3	道路環境の満足度	%	46	H20	60	H25		62	○	あり	関連事業である土地区画整理事業と一体的な道路整備が図れたことで、道路環境の向上に繋がった。	
	指標4										なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	吉川美南駅西口地区の自治会では、整備された道路や公園などについて、自主的にクリーン作戦を行うなど、美化意識が向上した。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	(仮称)二郷半緑道整備WS	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● H23～H25年度に整備が完了した二郷半緑道について、地元住民主体による維持管理の体制を構築する。						
持続的なまちづくり体制の構築	地元住民による公園緑地管理	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地元住民主体による公園緑地の維持管理について、継続的をお願いをしていく。							

## 様式2-2 地区の概要

(仮称)吉川新駅新拠点形成地区(埼玉県吉川市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	自由通路の利用者数	単位:人	0	H20	5,000	H25	5,604	H26
大目標: 全ての人々が安全で快適に歩いて暮らせる。新駅と一体となった新たなまちづくりを推進する。 目標1: 新たな交通結節点としてユニバーサルデザイン対応の自由通路を整備することにより、だれもが安全で円滑に利用できる生活環境の向上を図る。	公園緑地整備率	単位:%	3	H20	60	H25	100	H25
	道路環境の満足度	単位:%	46	H20	60	H25	62	H25
目標2: 水と緑のネットワーク化及び芸術文化のまちづくりを推進し、潤いと安らぎのある空間の創出、身近な芸術鑑賞の場の提供により、良好で質の高い居住環境の向上を図る。								
目標3: 街路の拡幅により歩道を分離し、電線類地中化等高質化により、歩行者の安全性、快適性の向上を図る。								



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉川美南駅西口は、自由通路や道路の整備により、歩いて暮らせるまちづくりに向けた基礎整備が完了した。</li> <li>吉川美南駅西口は、道路や公園の整備が完了し、交通便利性の向上及び良好な居住環境の形成が図れた。</li> <li>自由通路の整備により、吉川美南駅を中心とした新たなまちづくりの準備が整った。</li> <li>吉川美南駅西口は、土地区画整理事業と一体的な道路整備により、駅へのアクセスが整った。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉川美南駅のポテンシャルを活かした、東口の土地区画整理事業の早期事業化に向け、土地所有者、国及び県と調整を進める。</li> <li>吉川美南駅東口は、土地区画整理事業による計画的な道路網整備が必要である。</li> <li>道路、公園の適切な維持管理については、定期的なパトロールとともに、地元自治会などによる維持管理の協力を得る。</li> <li>ハード面の整備が完了した後は、住民と協調したソフト事業の取り組みが必要である。</li> </ul>